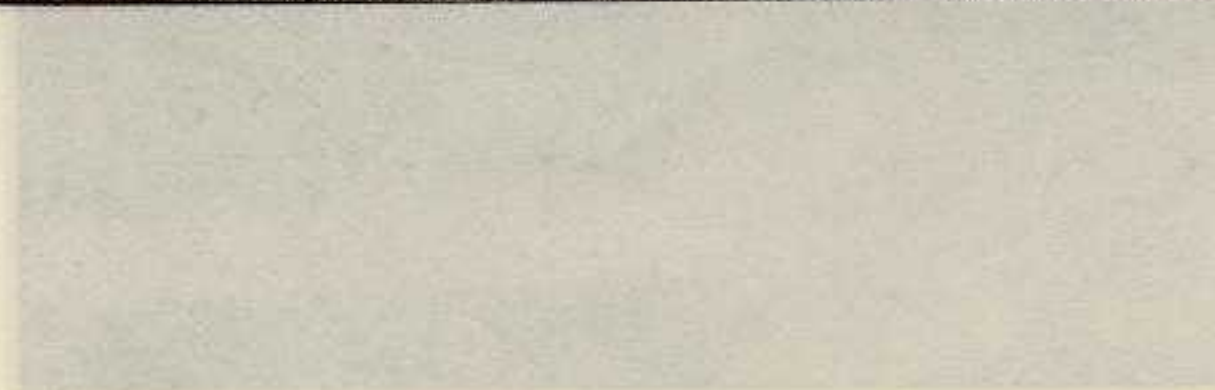
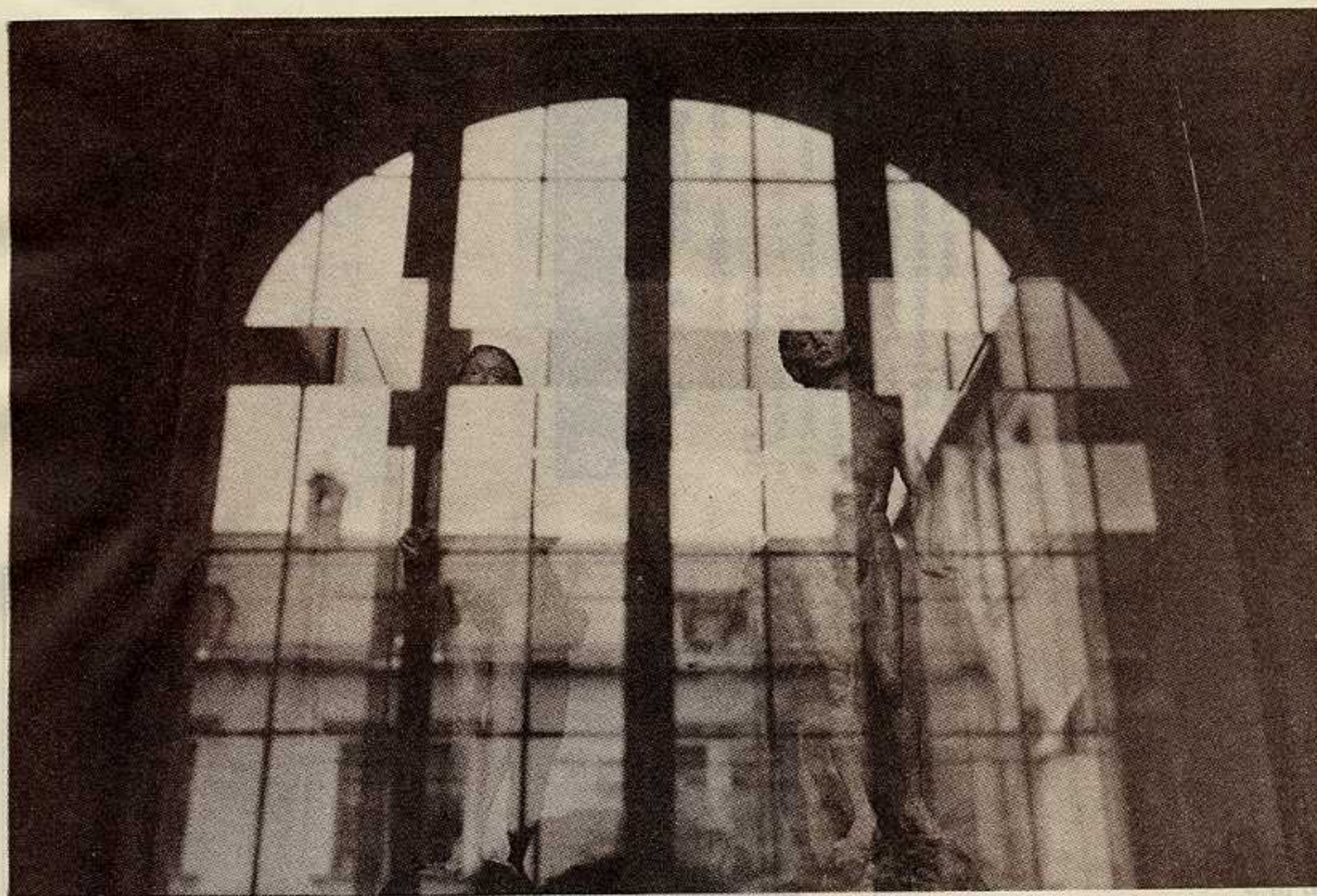
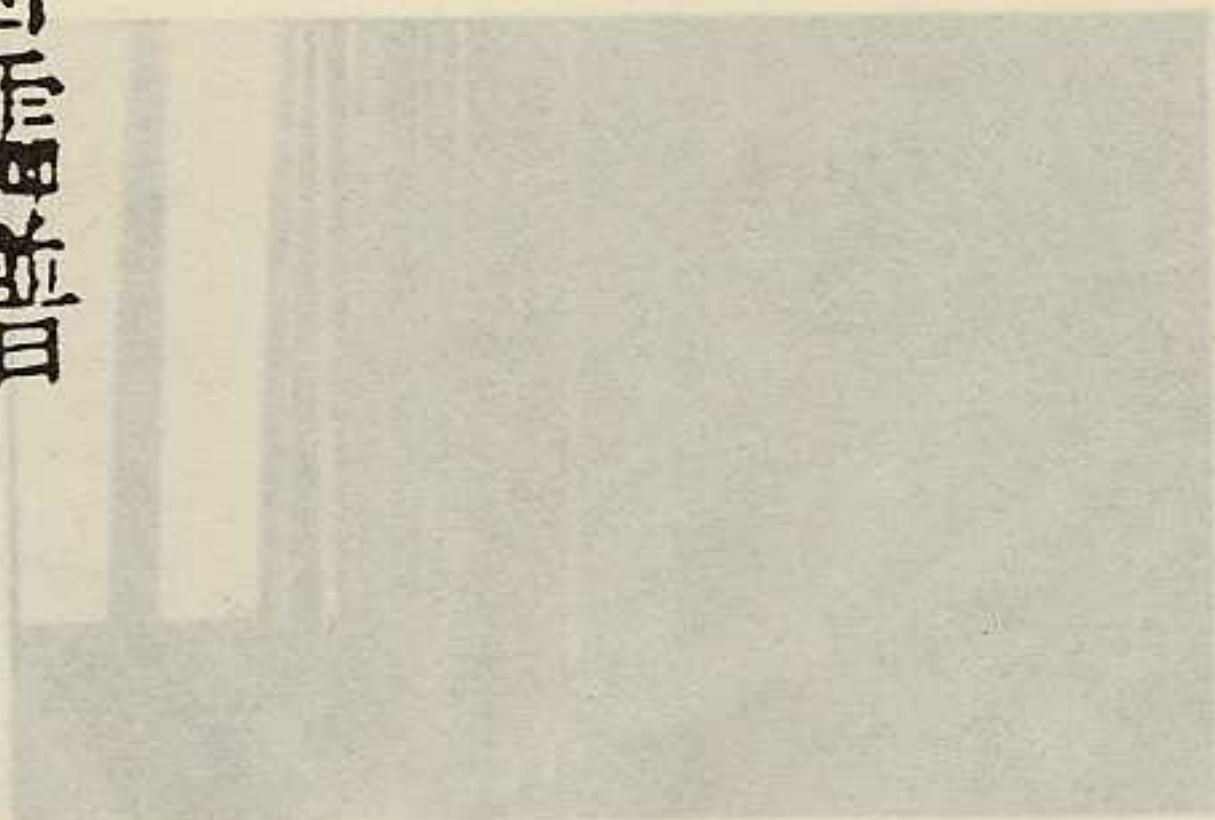
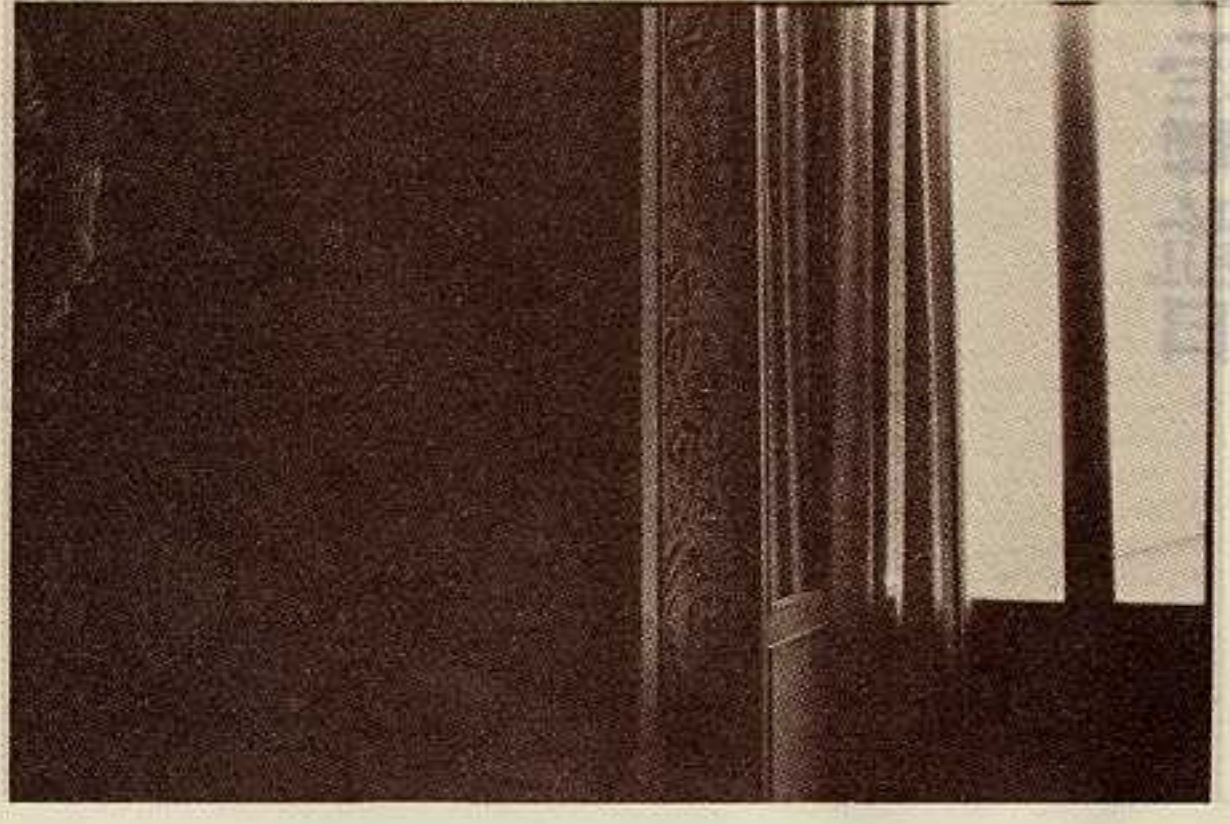


窗櫺譜



110. 窓櫺譜
111. 窓櫺譜
112. 窓櫺譜



窗橋譜

神谷俊美



窗橋譜頌 紙田 彰

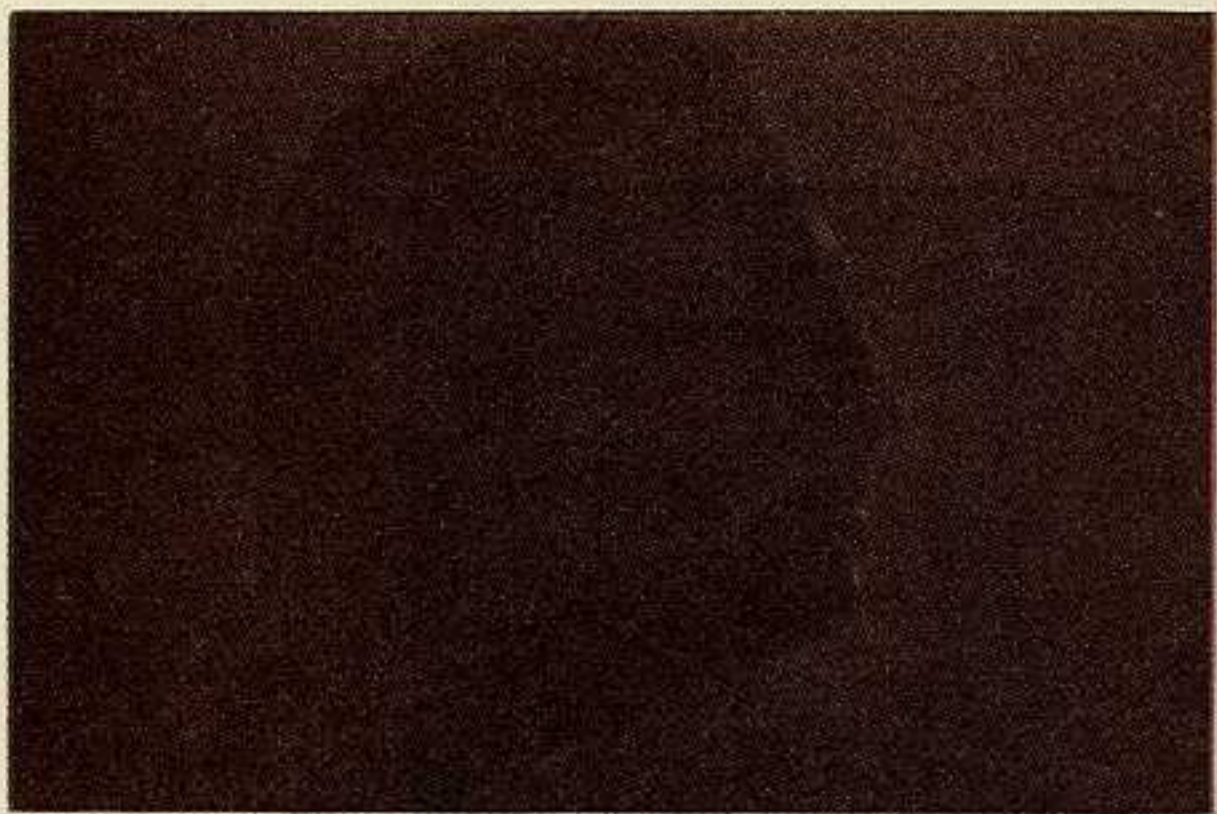
視線の造型——物質創造のドラマ

ダイヤモンドの内部に囚われた処女を描いたのは、周知の如く、アンドレ・ビエール・ド・マンディアルグである。この作品『Le Diamant』を読むたびに、時間と手数をたっぷりとかけた豪華な料理を食するような喜びに浸ることになるのだが、それにもまして、緻密に構成された同心円的構造という容器的完璧さに舌を捲かざるを得ない。女主人がサラがダイヤモンドという物質の至高性に至るまでの階段、つまり、螺旋階段、円形の踊り場、全庫室、フリズム型金庫、抽斗、皮袋、空色の包装紙、拡大鏡へと収斂されてゆく内部への旅が、聖堂をはじめとする聖遺物器やスウェーデンボルグの人体宇宙論などに匹敵する入れ子構造の具型とみることができるところである。その極限ともいへべき結晶体にサラが封せられようとする時、マンディアルグは「どちらが品物で、どちらが鑑定人あるいは保証人であるか」と眩惑の思いを度している。「窗橋譜」について感じたのも、このことである。

ここには定かあまりにも多い。定に開わりのない作品は一葉とてないと断しても差支えあるまい。もっとも、カメラ自体にレンズとかファインダーという定が内蔵されている以上、驚くほどのことではないのかも知れない。人間の眼球からして硝子体や水晶体という光の定がある。視神経を脳髓の定、脳髓を精神の定と考えることもできる。このように肉



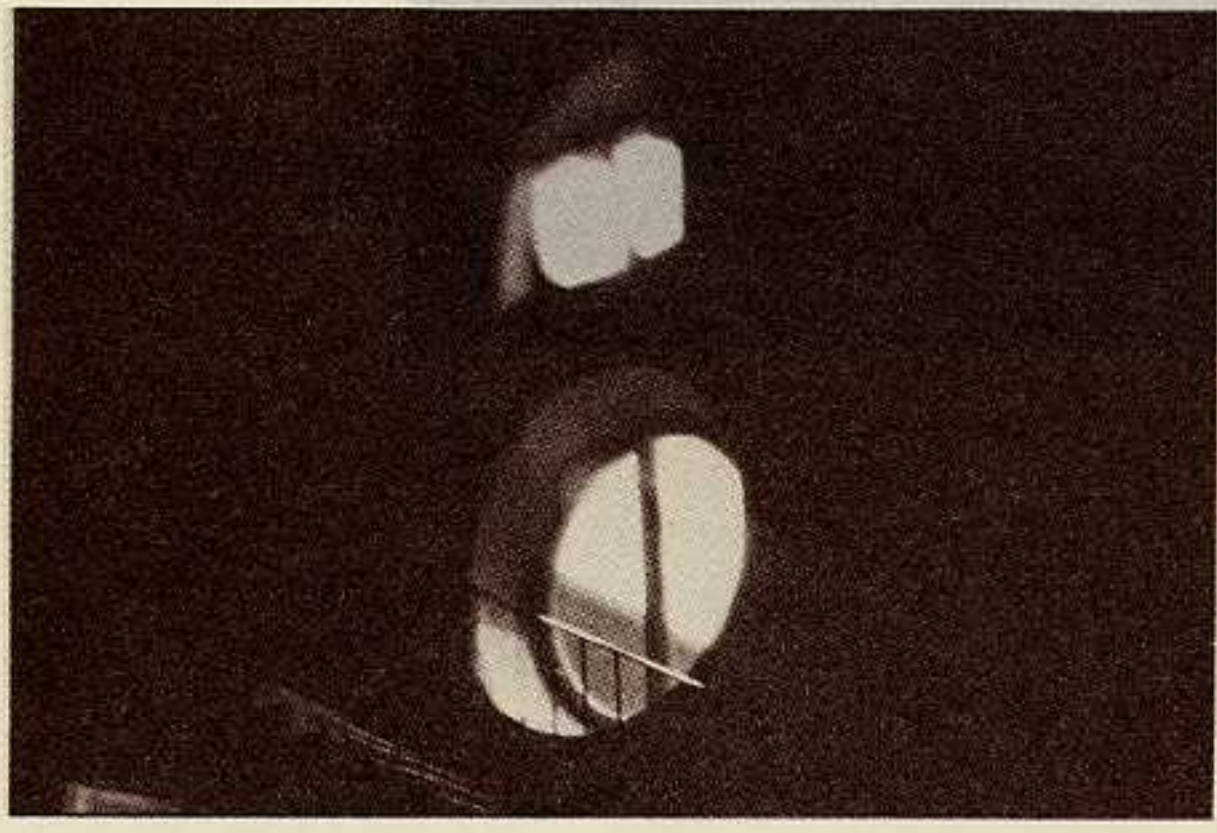
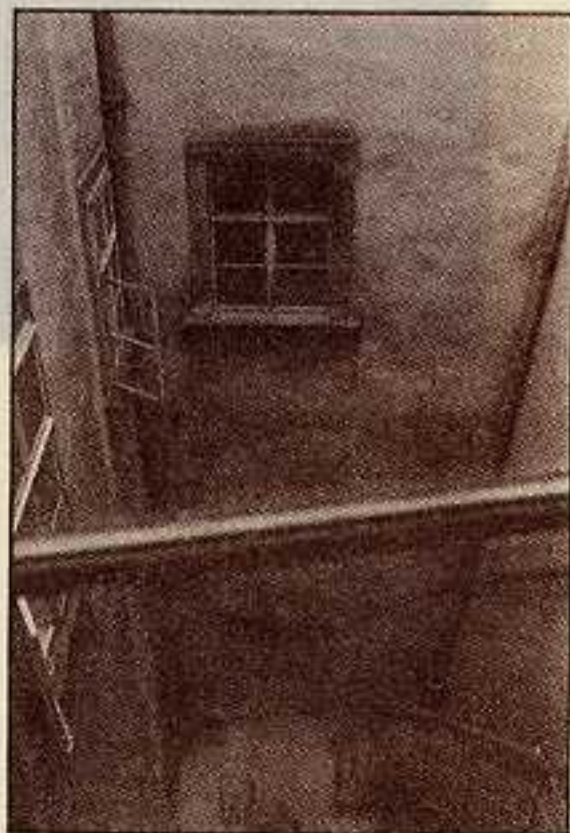
本写真集は一九七九年、ゴッドヴァレイアンリミテッドプロダクションから限定出版されたものであり、ここに掲載したのはその一部である。——編集部——

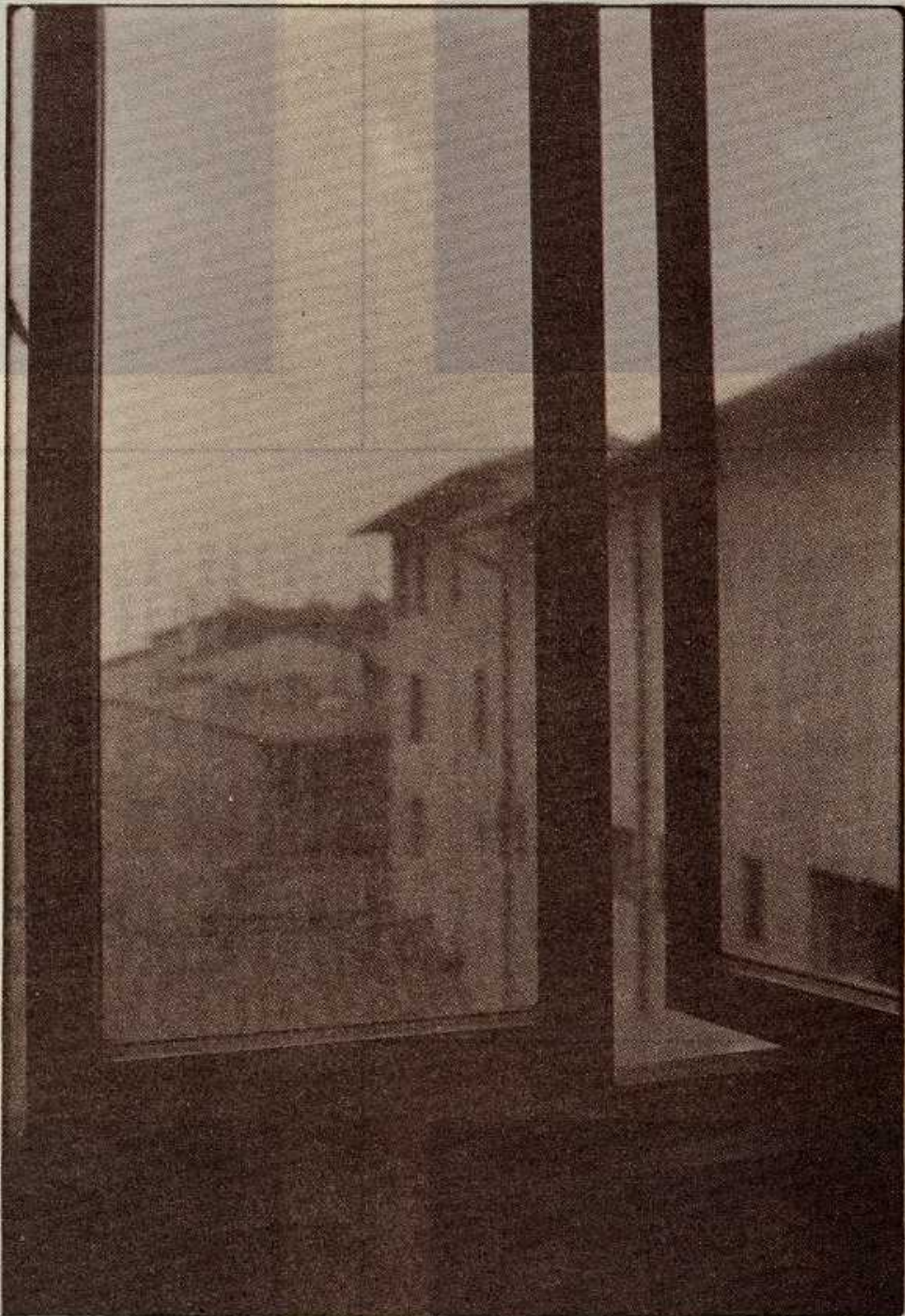


の内訳、皮体とカメラ、さらに美術師の意……という点の複雑な連なりが無限の入れ子構造として構成される時、どのような事件が起るのだろうか。マンティアルグは、視線が壁面を貫くためには内側にいなければならない」という具合にグイヤモンドの光学現象を説明している。壁とは言うまでもなく作品行為である。では、作家は「これの視線をカメラの中に、連なる点のそれぞれに射しなければならぬのだろうか」。

この作品集のタイトルを直載に表現するような映画博物館の素敵な横川の標子窓から覗く深い樹木、オーストリアギャラリーの薄紗のカーテンを透して見える公園、ウフィツィ美術館の定枠を強調した外景などはそのような内部から見た外部であり、窓が光を味方に行っているために、外部から内部を窺うことができない。ここでは視線の逆行現象は起らず、あくまでも水平に外に広がる同心円の波紋として存在している。では、アルヘルティナの建物内部の屈折した階段、向こうの窓、一階の扉とコンクリートの床などを収めた作品はどうなのだろうか。まるで自分の背髄を覗いたかのように、あるいは神経線維を映し出しているかのように思えないだろうか。ヴェネチア歴史美術館の作品では、最近くの見事なレリーフを中心にして聖者の左手と像の全体の影が、脳髓の裂に現れる光と闇りとの危うい、暗示的な関係として見てとることができ。これらは、視線が視線を逆行し、肉体の内部に向かうために起きる、いわば入れ子構造の垂直の波動と考えられないだろうか。

そのような意味で、バイエルン博物館のアダムとイヴの彫刻を素材にした作品は周到である。ここではショーケースに映る作家の背後の窓を通した外景と、その窓に映る彫刻を、ショーケースの前後の硝子に映すという演出者の精密な計算によって、まるで合せ鏡から語りかけてくる悪魔の誘惑の声のように、異様な世界を垣間見させている。このような入れ子構造の波動し、躍動し、それゆえに一層複雑な運動は、まさしく物質の創造の舞台であり、思想と技術との一致という古代からの夢を造型し、濃密な時間を充電しようという、凄じい意志の形である。物質はこのように時間を注がれ、グイヤモンドが内部から発光するような至福の状態に至り、燦然として生命を帯び、自ら思考し、自ら舞台を疾り抜ける。その意味で、あのマンティアルグの暗感を抱きながら、この作品集では森羅的なスペクタクルが展開されているのだ。ヨーロッパの老練寸前の文化を単なる背景にし、神谷俊美自身をも演出家として遠景に留めさせることによって辛じて成り立つ、カメラの中に渾然と溶け入り、その頭脳と化した視線が唯一の主人公となった物質創造の巨大なドラマが、私たちの作品を見るといふ構造をも擾乱しようとしているのである。





On the right side of the page, there is a vertical column of text in Chinese characters. The text is arranged in a single column and appears to be a caption or a short article related to the photograph. The characters are small and difficult to read due to the image quality.

